

スズキの四輪駆動車 新型「ジムニー」、新型「ジムニーシエラ」が 「グッドデザイン・ベスト100」に選出



GOOD DESIGN AWARD 2018

BEST 100



軽四輪駆動車 ジムニー XC



小型四輪駆動車 ジムニーシエラ JC

スズキ株式会社の軽四輪駆動車 **新型「ジムニー」**、小型四輪駆動車 **新型「ジムニーシエラ」**が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2018年度グッドデザイン賞」*において、特に優れたデザインに与えられる「グッドデザイン・ベスト100」に選出された。グッドデザイン・ベスト100への選出は2013年の軽商用車「キャリイ」に続いて2度目となる。

1970年に軽自動車として唯一の四輪駆動車（当時）として発売した「ジムニー」を初代とするジムニーシリーズは、高い悪路走破性とコンパクトな車体による取り回しの良さにより、世界の国々で活躍しているスズキを代表する車種であるとともに、日本が世界に誇る唯一無二のコンパクト4WDである。

今回、20年ぶりにフルモデルチェンジした新型「ジムニー」、新型「ジムニーシエラ」は、専門家が愛用する「プロの道具」をデザインコンセプトに、機能に徹した飾らない潔さを追求。車両の姿勢や状況を把握しやすいスクエアボディーにより、悪路走破性に寄与するとともに、積載性や操作性、車両内外の彩色に至るまで機能に徹した実用性の高いクルマを実現した。

● 審査委員の評価

「多くの製品がひしめく世界の自動車市場において競合製品のない独自の地位を得ている。また、そのモデルチェンジの過程において、道具として求められる機能を追求することで進化しており、理想的なり・デザインの取り組みを実践していることが高く評価できる。特に今回のモデルチェンジでは、従来の良さを残しつつ、洗練されたデザインとなっている。」

* 「グッドデザイン賞」：1957年に通商産業省（当時）によって創立された「グッドデザイン商品選定制度」（通称Gマーク制度）を母体とする、我が国唯一の総合的デザイン評価・推奨制度。